

2020年10月29日
株式会社日本政策金融公庫

第206回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2020年7～9月期実績、10～12月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、大幅に改善している。
～景況は、持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている～**

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲28.5とマイナス幅が大幅に縮小した。
○ 借入難易感D.I.は、2.4と上昇し、18年10～12月期以来のプラスとなった。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、大幅に減少した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。
○ 来期(20年10～12月)における保証利用要請D.I.は、0.7とやや低下した。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲45.5とマイナス幅が大幅に縮小した。
○ 採算D.I.は、▲45.6とマイナス幅が大幅に縮小した。

【特別調査】「新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について」

- 企業活動へのマイナスの影響については、調査時点(9月中旬)において、「影響あり」と回答した企業が前期に引き続き7割超となっている。
- 資金繰り対策として、20年7～9月に金融支援を「利用した」と回答した企業が全体の6割超となっており、利用した金融支援では「信用保証付き融資」が約8割と最も高く、前期調査と比べて約15ポイント増加している。
- 今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が約5割となり、前期調査と比べて、約20ポイント減少している。

＜調査の要領＞	調査時点	2020年9月中旬
	調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 16,000企業を対象としており、 回答企業の約83%が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
	有効回答企業数	4,823企業
	回答率	30.1%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:新井田、宮本、山嶋)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲28.5とマイナス幅が大幅に縮小した。
来期の見通しについては、▲29.1となっている。

		2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9	10-12
資金繰りD.I.	実績	▲9.0	▲13.1	▲22.7	▲54.4	▲28.5	
	見通し	▲5.0	▲6.5	▲8.3	▲27.0	▲38.6	▲29.1

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

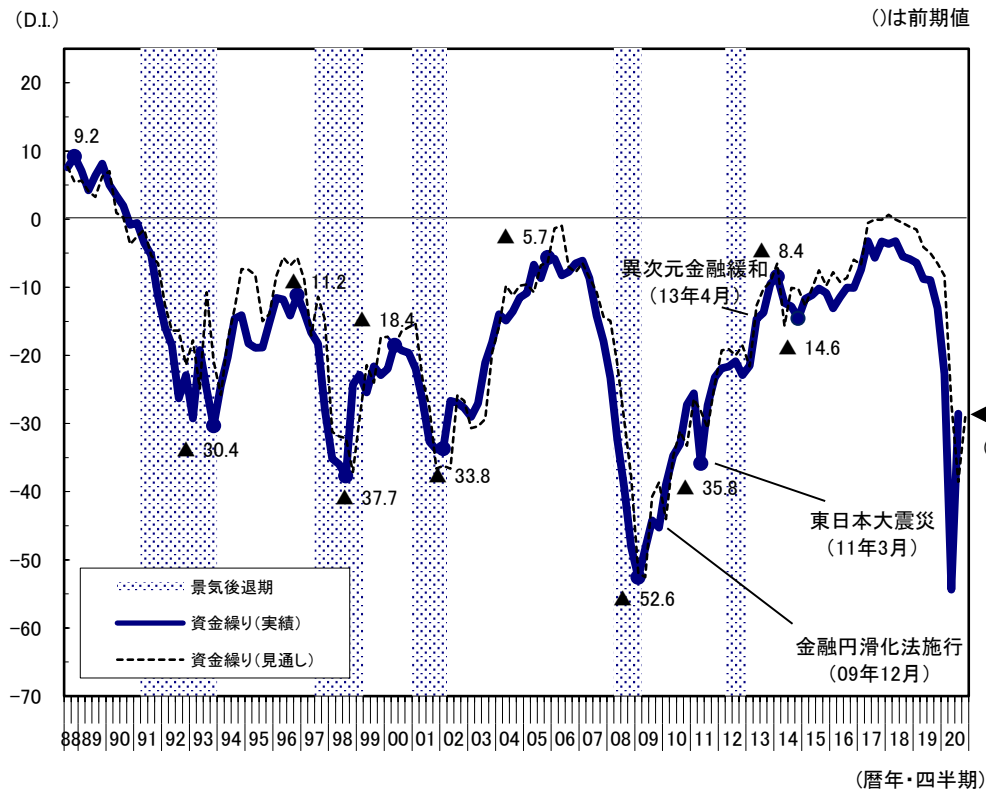
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、2.4と上昇し、18年10~12月期以来(7期ぶり)の
プラスとなった。
来期の見通しについては、▲18.8となっている。

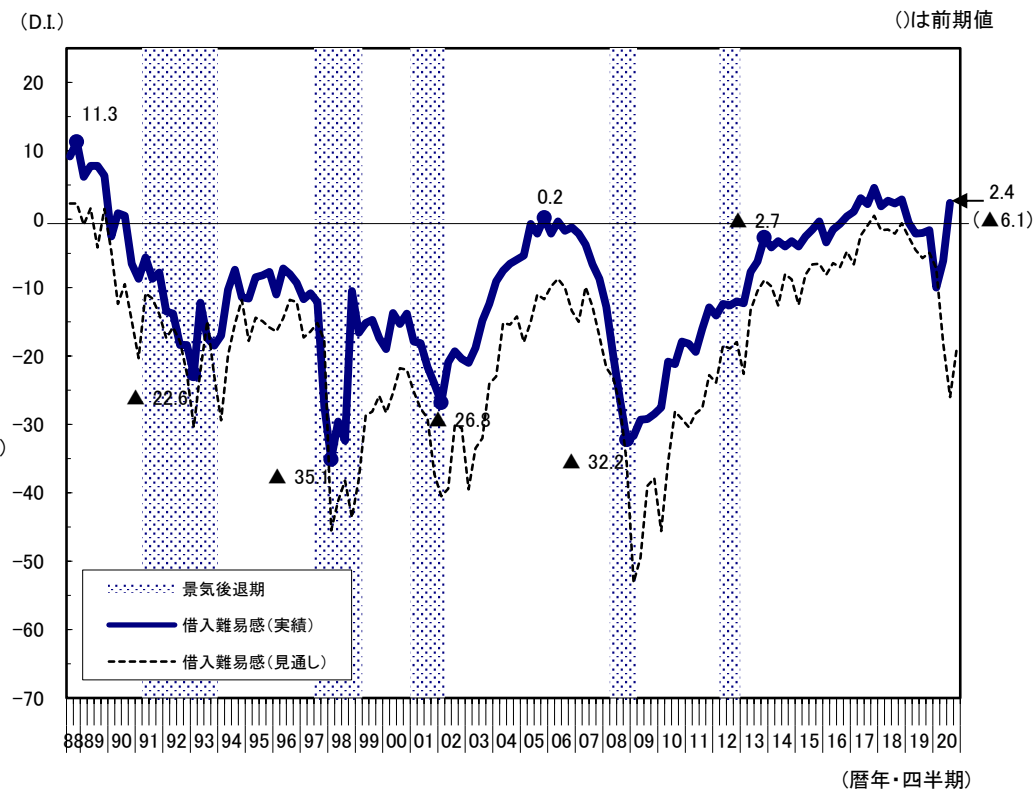
		2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9	10-12
借入難易感D.I.	実績	▲2.0	▲1.6	▲10.0	▲6.1	2.4	
	見通し	▲5.7	▲4.9	▲7.2	▲18.1	▲26.0	▲18.8

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、大幅に減少した。

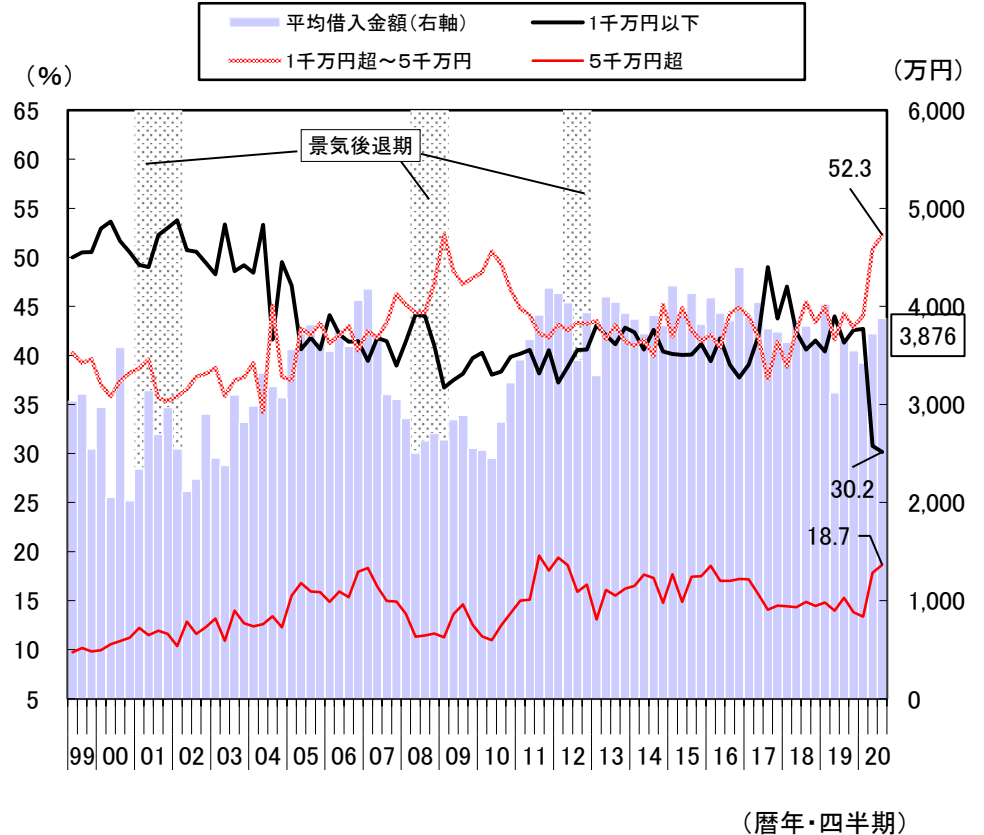
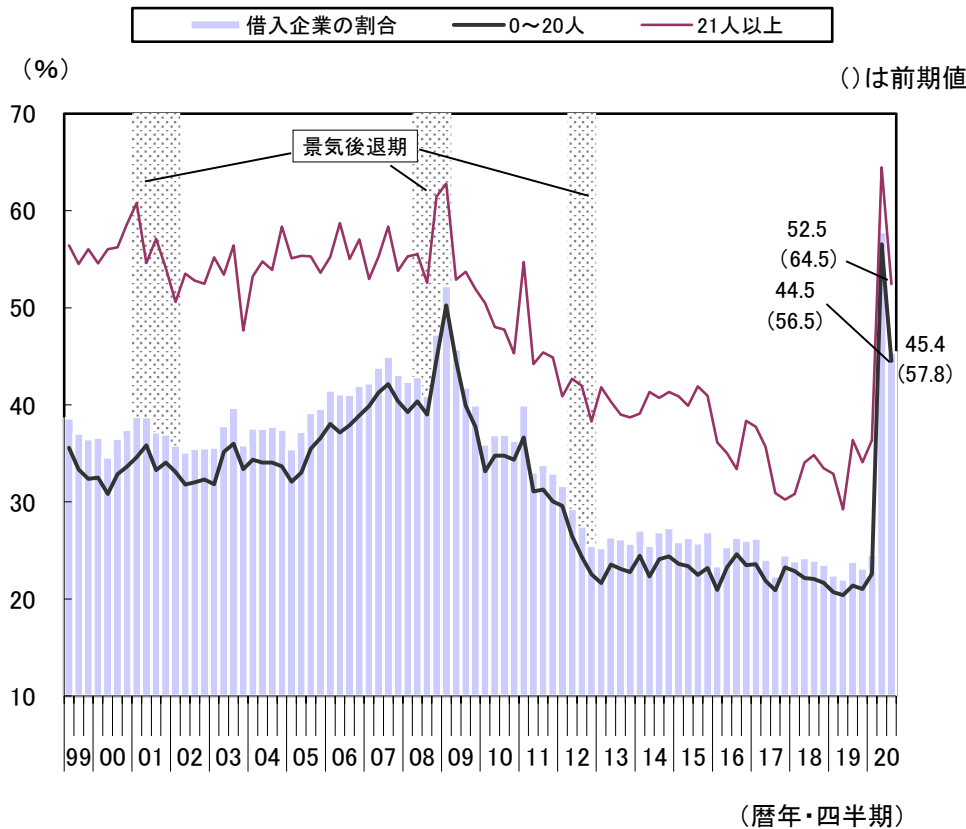
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円超～5千万円」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
借入企業の割合	23.8	23.2	24.6	57.8	45.4
0-20人	21.4	21.0	22.6	56.5	44.5
21人以上	36.4	34.1	36.3	64.5	52.5

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

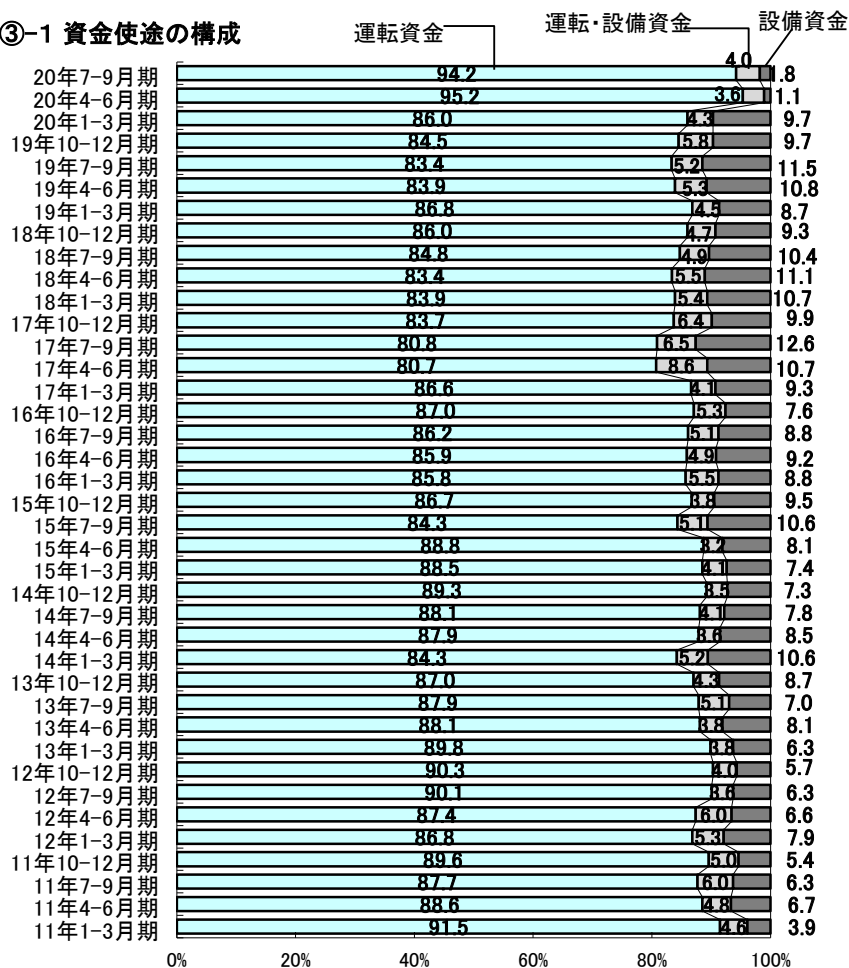
	2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
1千万円以下	41.3	42.6	42.7	30.8	30.2
1千万円超～5千万円	44.3	42.9	44.1	50.9	52.3
5千万円超	15.3	13.8	13.4	17.8	18.7



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

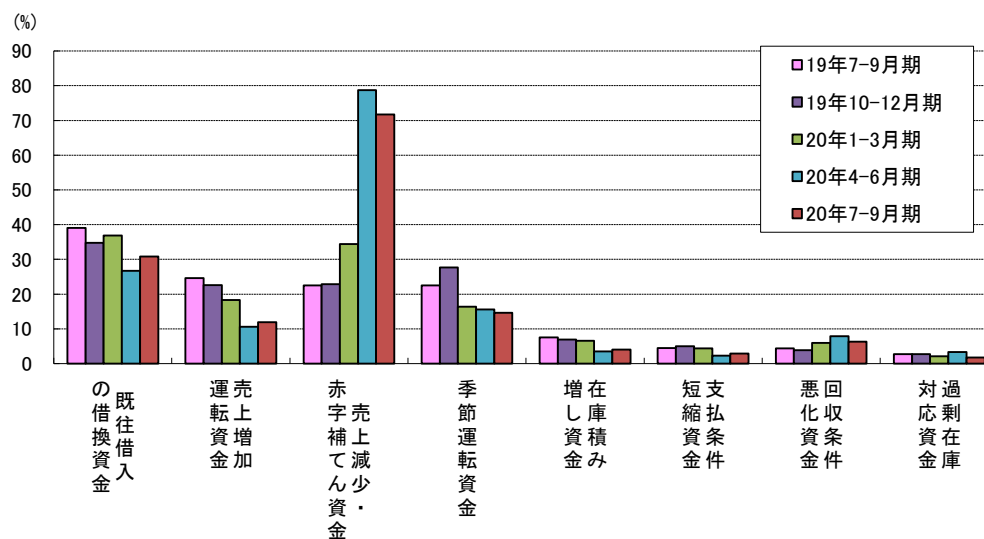
- ・資金使途については、運転資金が引き続き9割超となっている。
- ・運転資金の内訳では、「売上減少・赤字補てん資金」の割合が2期連続で7割を超えた。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既往借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金	
20年	7-9月期	30.8	11.9	71.7	14.6	4.0	2.9	6.3	1.8
	4-6月期	26.7	10.6	78.7	15.6	3.5	2.3	7.9	3.3
	1-3月期	36.9	18.3	34.4	16.4	6.6	4.4	6.0	2.1
19年	10-12月期	34.8	22.6	22.9	27.7	6.9	5.0	3.9	2.7
	7-9月期	39.1	24.6	22.5	22.5	7.5	4.5	4.4	2.7



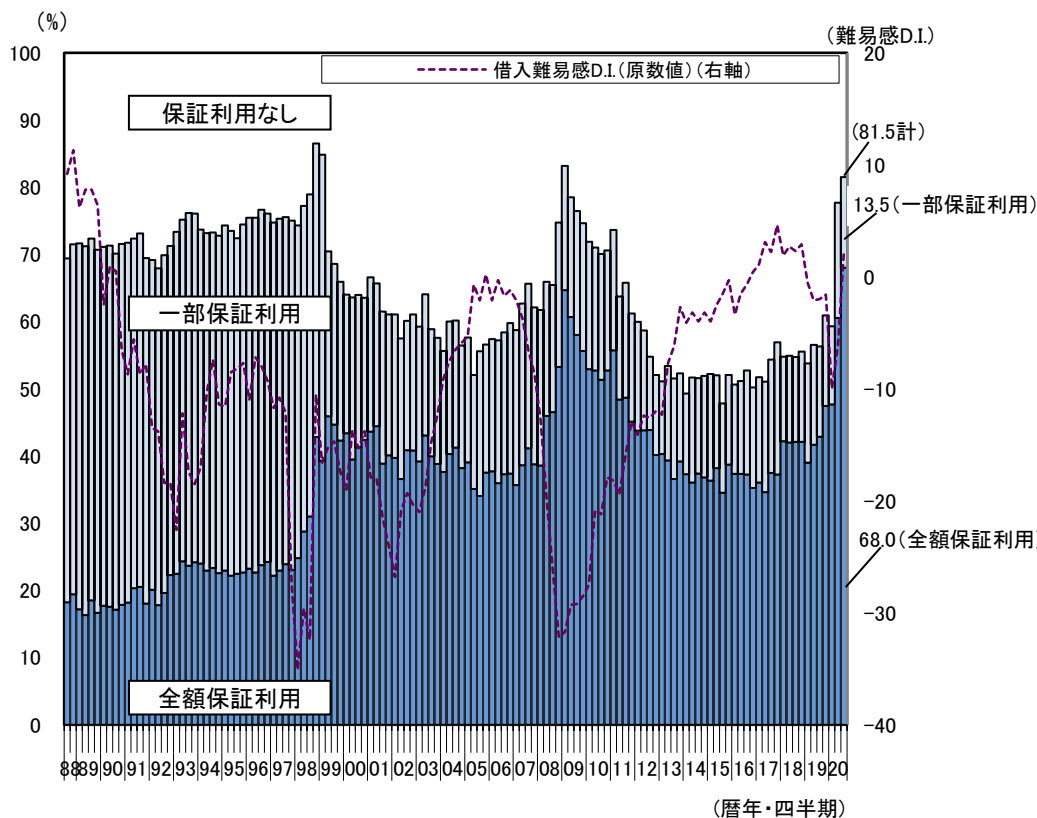
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。保証利用割合別にみると、「全額利用」が増加した一方、「一部利用」はやや減少した。

	2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9
保証利用企業の割合	56.3	60.9	59.3	77.7	81.5
全額利用	42.9	47.5	47.7	60.6	68.0
一部利用	13.4	13.5	11.6	17.1	13.5
保証利用がない企業の割合	43.7	39.1	40.7	22.3	18.5

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

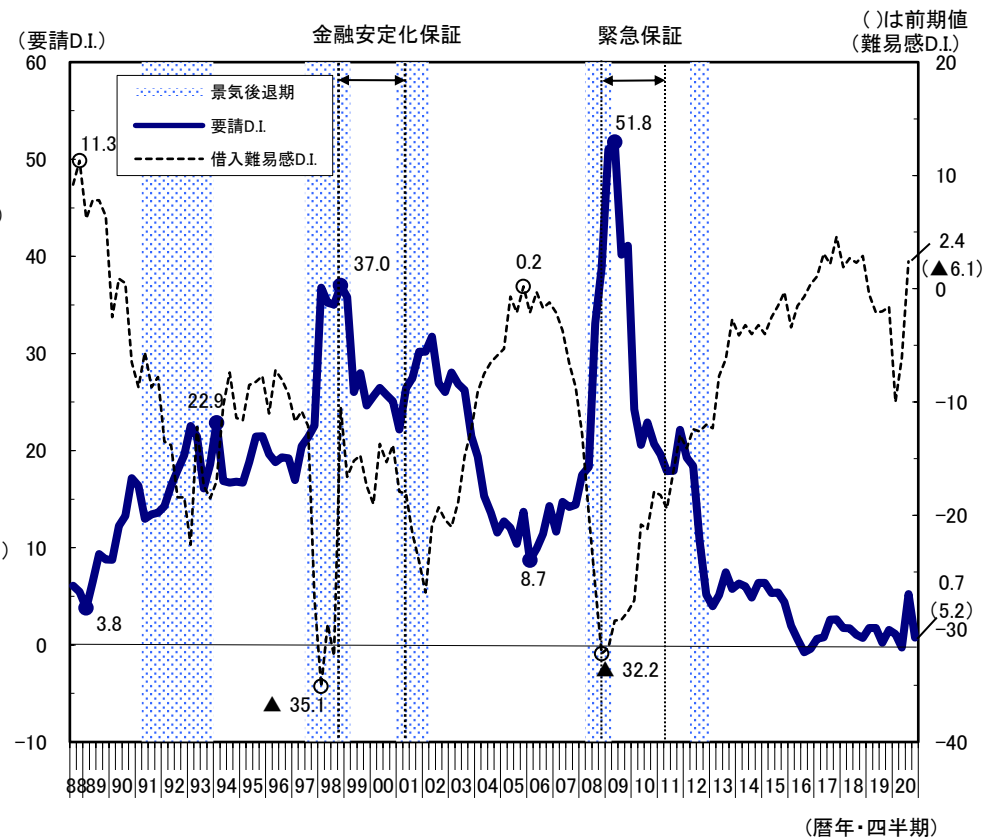
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(20年10~12月)における保証利用要請D.I.は、0.7とやや低下した。

	2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9	10-12
要請D.I. 見通し	0.2	1.5	1.1	▲0.3	5.2	0.7
借入難易感D.I. 実績	▲2.0	▲1.6	▲10.0	▲6.1	2.4	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



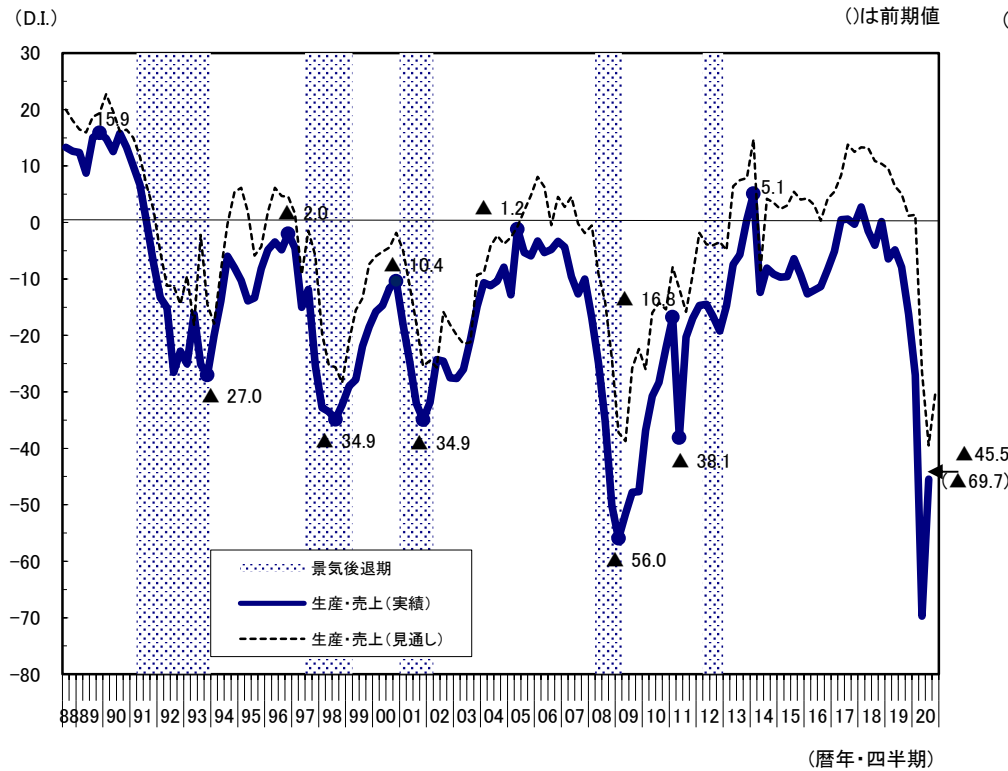
(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲45.5とマイナス幅が大幅に縮小した。
来期の見通しについては、▲30.0となっている。

		2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9	10-12
生産・売上D.I.	実績	▲7.9	▲16.2	▲27.0	▲69.7	▲45.5	
	見通し	5.0	1.2	1.4	▲26.5	▲39.5	▲30.0

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

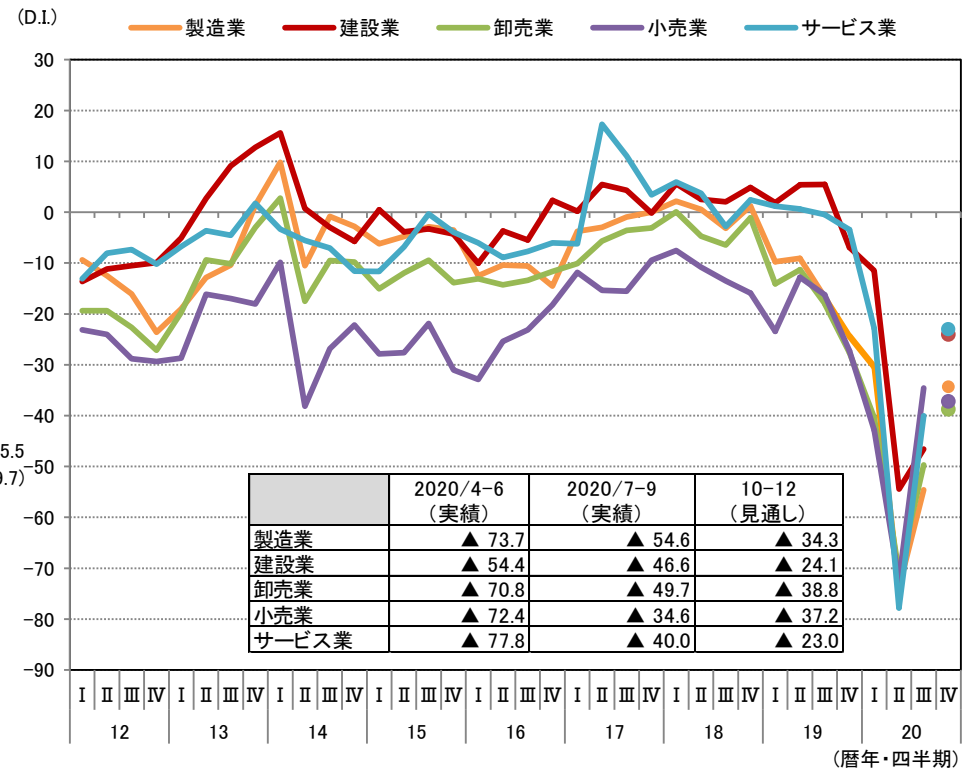
生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



生産・売上(業種別)

・生産・売上D.I.(業種別)は、全ての業種でマイナス幅が縮小し、特に建設業を除いた4業種では大幅な縮小となった。

業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



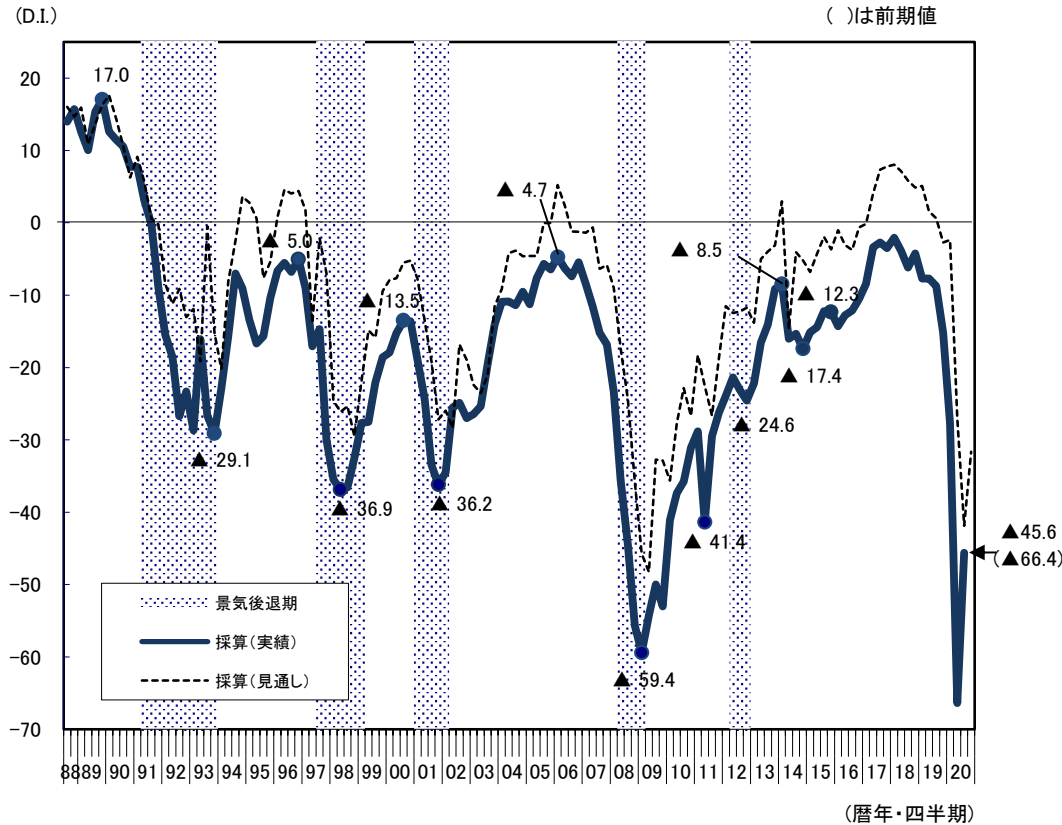
(6) 採算

・採算D.I.は、▲45.6とマイナス幅が大幅に縮小した。
来期の見通しは、▲31.6となっている。

		2019/7-9	10-12	2020/1-3	4-6	7-9	10-12
採算D.I.	実績	▲ 8.7	▲ 15.2	▲ 27.8	▲ 66.4	▲ 45.6	
	見通し	0.6	▲ 2.7	▲ 2.4	▲ 27.0	▲ 41.9	▲ 31.6

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

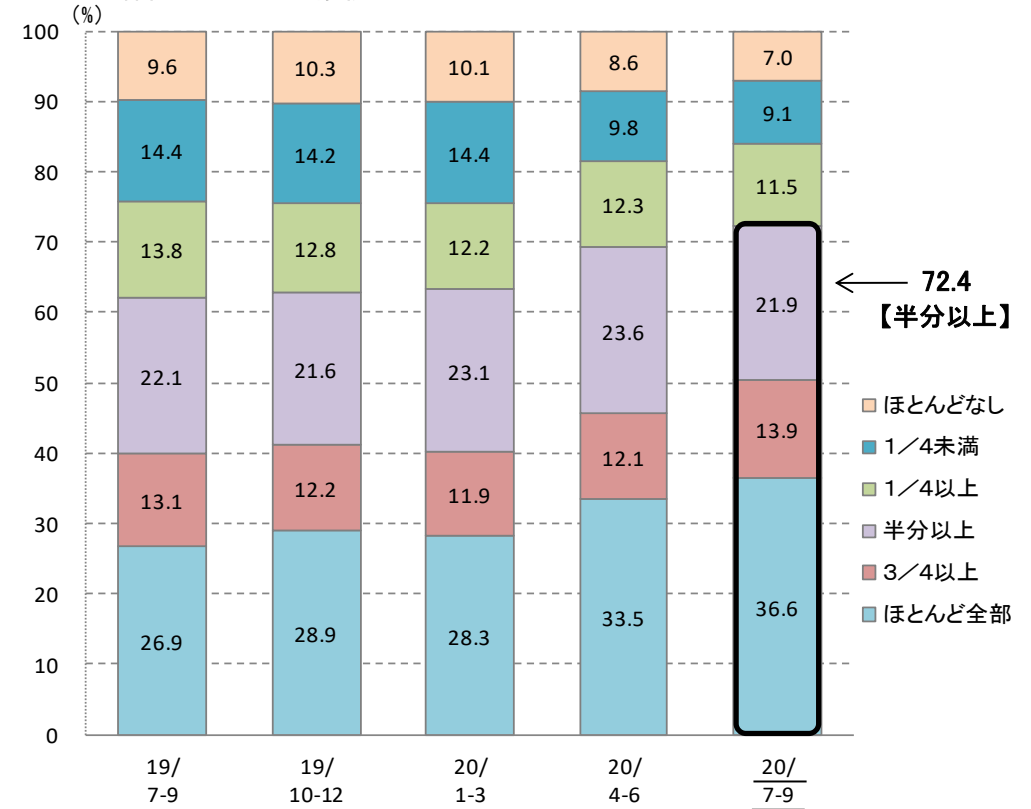
採算D.I.(季節調整値)の推移



(参考) 保証利用割合

・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が72.4%とやや増加した。

保証利用割合の推移



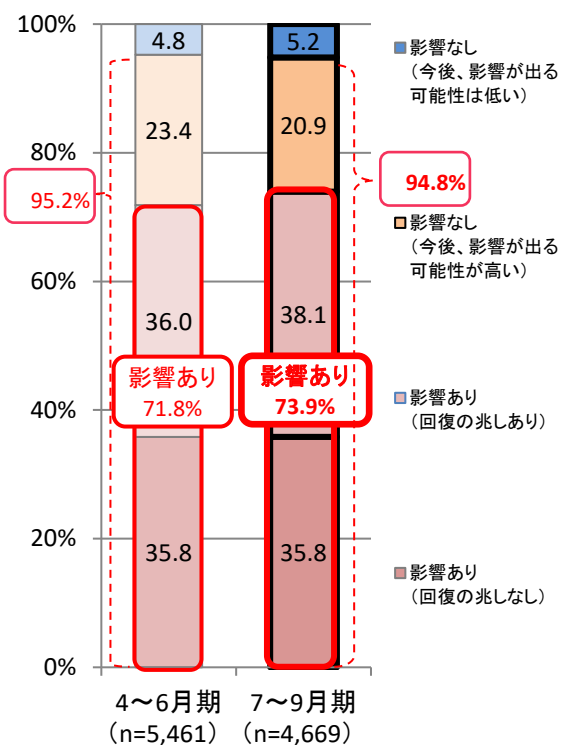
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

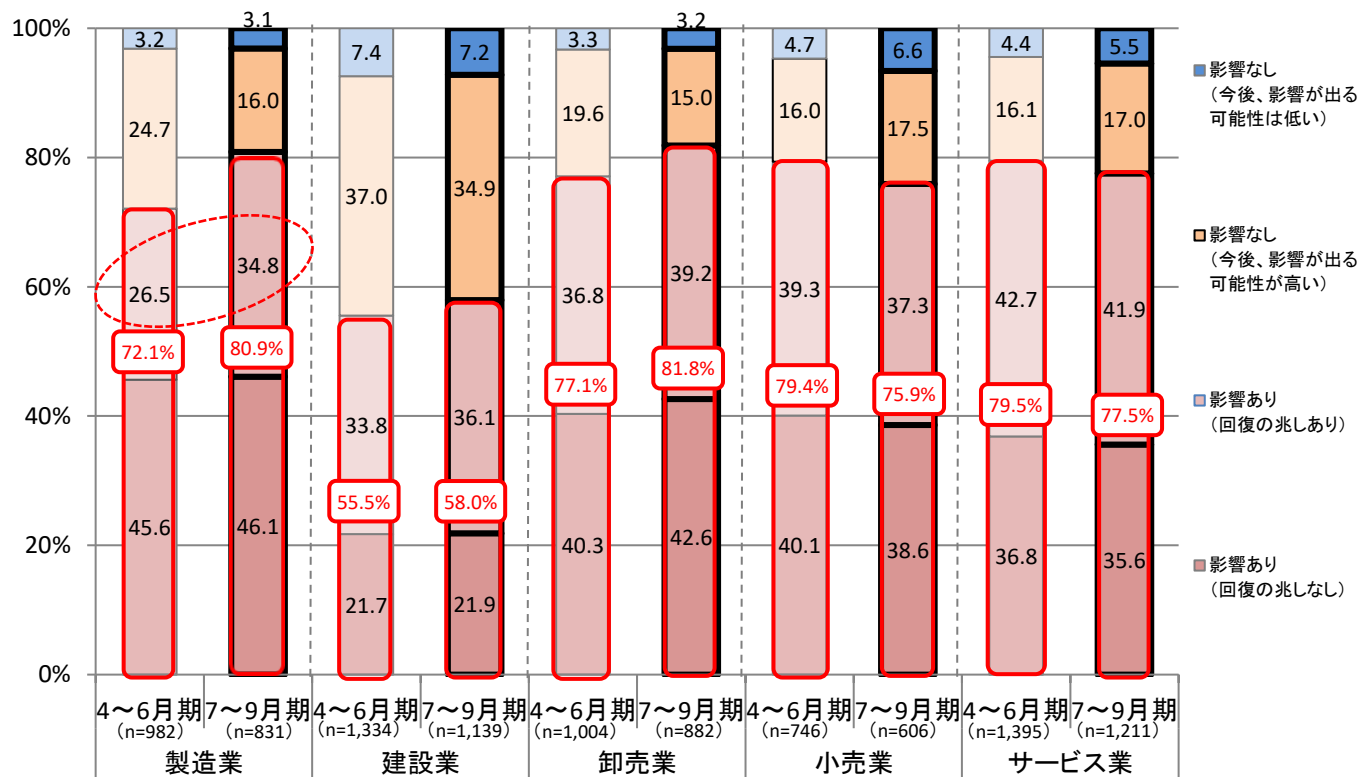
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「影響あり」と回答した企業が前期に引き続き7割超となっている。また、「影響なし(今後、影響が出る可能性が高い)」と回答した企業をあわせても、引き続き9割超が続いている。
- ・業種別にみると、建設業を除く全ての業種で「影響あり」が前期に引き続き7～8割程度となっており、製造業では「影響あり(回復の兆しあり)」の回答割合が増加している。

(1) 企業活動へのマイナスの影響



(2) 企業活動へのマイナスの影響(業種別)



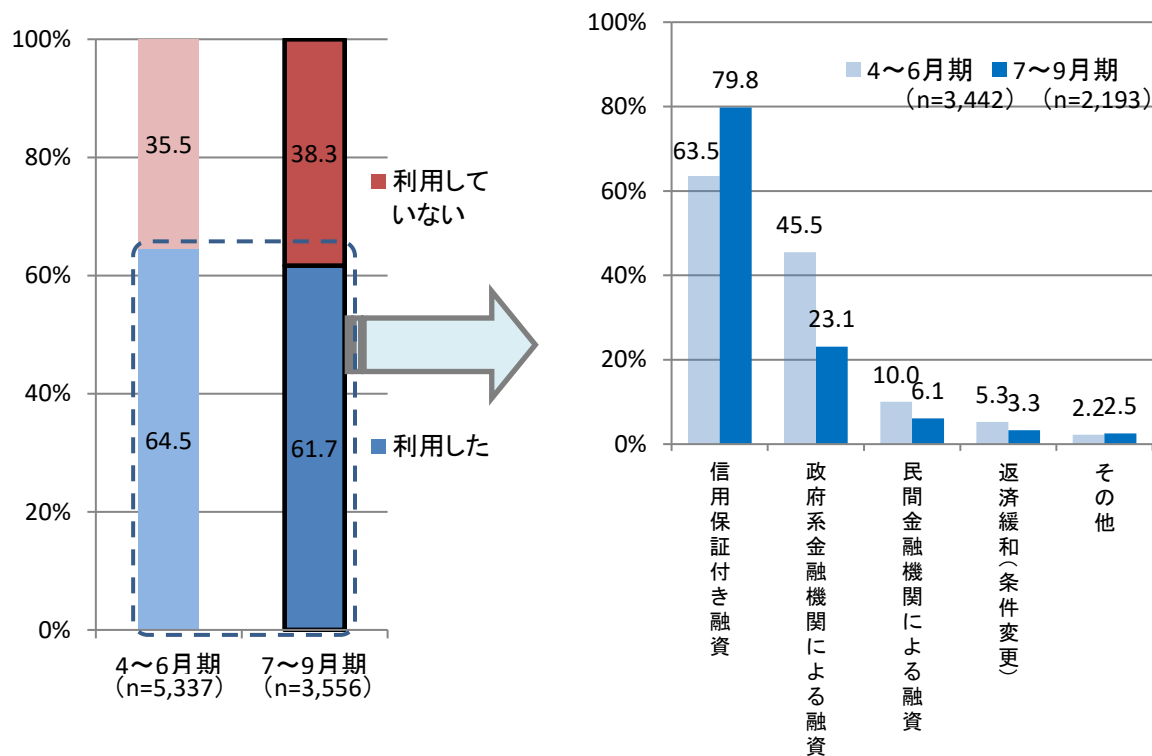
特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

2. 金融支援の利用状況について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金繰り対策として、20年7～9月に金融支援を「利用した」と回答した企業は前期に引き続き6割超となっている。
また、利用した金融支援をみると、「信用保証付き融資」が約8割と最も高く、前期調査と比べて、約15ポイント増加している。
- ・金融支援を利用した理由については、「人件費支払など従業員の雇用維持のため」が最も多く、次いで「既存の取引先(仕入・外注・借入先等)への支払・返済など取引継続のため」が続いており、回答割合は、いずれも約7割となっている。

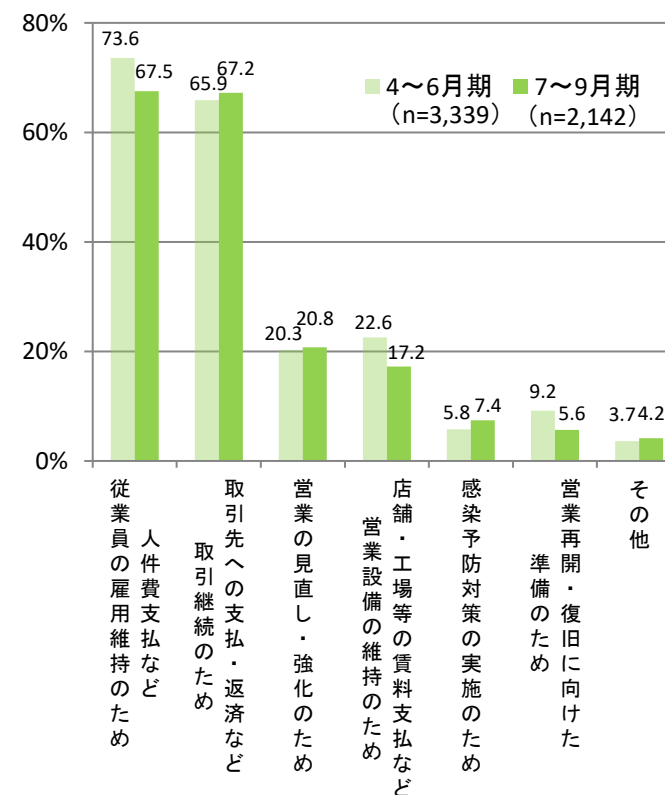
(1) 金融支援の利用状況



(注) 4～6月期は、20年3～6月における金融支援の利用状況。
(本頁における他のグラフ内の「4～6月期」も同じ)

(注1) 複数回答のため、合計は100%を超える。
(注2) 信用保証付き融資や政府系金融機関による融資には、当該融資を利用する前提で利用された民間金融機関のつなぎ融資を含む。

(2) 金融支援を利用した理由



(注) 複数回答のため、合計は100%を超える。

特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響及び金融支援の利用状況について

3. 今後の金融支援の利用に係る検討状況について

- ・今後の金融支援の利用に係る検討状況については、「検討している」と回答した企業が約5割となり、前期調査と比べて、約20ポイント減少している。

今後の金融支援の利用に係る検討状況

